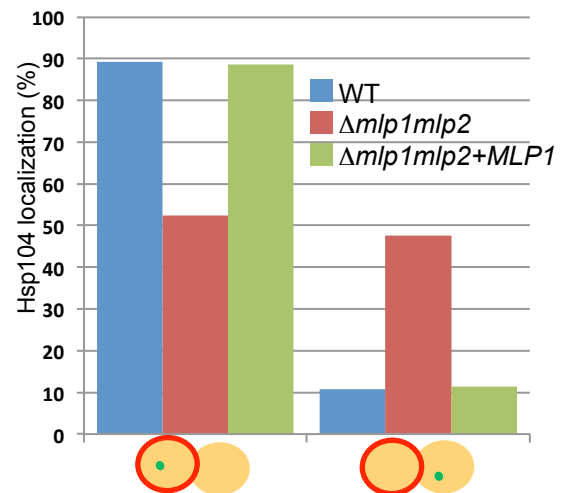
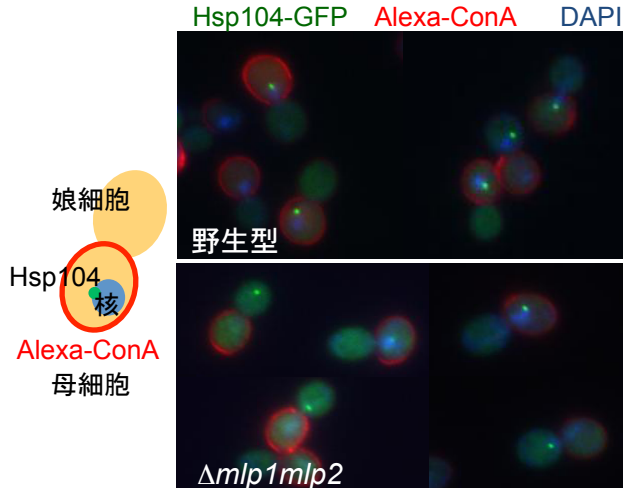


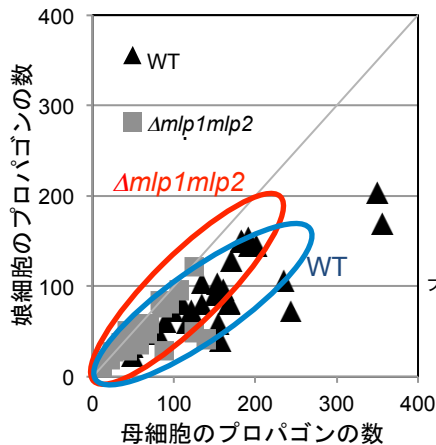
酵母におけるプリオンタンパク質凝集体の不均等分配のメカニズム

研究分担者: 独立行政法人理化学研究所・脳科学総合研究センター 鈴木元治郎

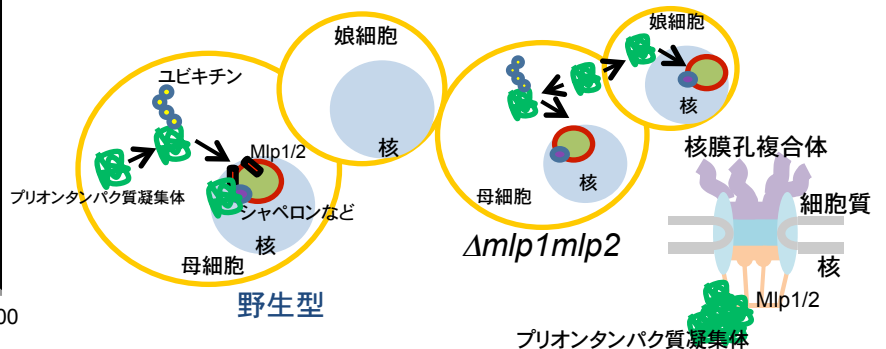
1. *mlp*変異株におけるプリオンタンパク質凝集体の不均等分配



2. プリオンタンパク質(プロパゴン)の不均等分配



3. プリオンタンパク質凝集体の不均等分配モデル



解説

1. タンパク質凝集体のマーカであるHsp104の凝集体が母細胞と娘細胞のどちらに局在するか調べたところ、野生株(WT)では母細胞に不均等に局在するが、*mlp1mlp2*二重変異株ではランダムに局在していた。
2. 母細胞と娘細胞に含まれるプリオンタンパク質の凝集体(プロパゴン)を定量したところ、野生株では母細胞に多くのプロパゴンが含まれていたが(青)が *mlp1mlp2*二重変異株では同程度含まれていた(赤)。
3. プリオンタンパク質などの凝集体は核膜孔に存在するMlp1/Mlp2に保持されることによって母細胞に不均等に分配されると考えられる。